

宮城教育大学附属小学校 3 年生に防災教室を開きました（2020/1/17）

テーマ：防災教育

場 所：災害科学国際研究所 1 階会議・セミナー室

1 月 17 日（金），災害科学国際研究所 1 階会議・セミナー室において，宮城教育大学附属小学校の 3 年生を対象とした防災教室を開催し，教員，児童とその保護者の 27 名が，3 年生児童の防災をテーマとした学習活動の一環として参加しました。

佐藤 健教授（情報管理・社会連携部門）による模擬授業では，「家の中にいるとき，地しんが起きたらどうすればいいかを考えてみよう」と題して，地震発生直後，もしくは緊急地震速報の受信直後に室内においてとるべき安全行動とその意義について，スライドを用いて講話が行われました。また，佐藤教授から予め宿題としてだされ，各自作成しておいた自分の部屋やリビングルームなどの間取り図をもとに，家具の転倒，落下物や室内散乱による危険性を書き込む作業を行いました。児童相互の話し合いや意見の発表を通して，新たな気づきを含めた深い学びを行うことができました。

約 1 時間という限られた時間での授業ではありましたが，引率教員，同行した保護者から高い評価をいただきました。豊かで質の高い防災教育の実現に向けて，防災研究者が学校教員と有機的に協働することの重要性が示唆されました。



佐藤健教授による学習指導のようす



集合写真

文責：佐藤 健（情報管理・社会連携部門）